

すなお

令和4年2月号



おやのことば

緩めば枝が枯れる、枝が枯れたら葉が落ちる、芽が枯れる。
も一日も早く早く。
この道理聞き分けたら、一日も早く早く。

明治三十年二月十九日

それで感じたのは、人間が世話をして植えてやるような木は伐採されてしまうと、すぐに根も枯れてしまっていますが、いわゆる雑木というような木は伐採されても根っこ辺りからしばらくの間、芽が次から次へと生えてきます。そして、根を掘り起こしてみると土の中では縦横無尽に根が絡み合つて伸びています。本当に凄まじい勢いを感じます。だからこそ、どんな状況にあってもしぶとく生きて行けるのだろうと思います。

以前、ある老人ホームの取り組みを聞いてなるほどと思ったことがあります。それは施設の中でのバリアフリーを止めたという決断です。数年前から日本各地での老人福祉施設においてはバリアフリー化を進めていく状況の中でしたので、当時の流れからは逆行する方針です。

(次ページへ)

会長

先日、以前に伐採した後の根を取り除く作業をさせていただきました。教会にはたくさん種類の木々が植えられていますが、根を見るとその木の性質のようなものが分かるような気がします。もちろん、私は全くの素人ですから感覚的なものです。



すなお (立教185年2月号)

通 巻
發行所

No.739
天理教瀬戸路分教会
794-0007 今治市近見町4-5-10
0898-23-5004
FAX 0898-23-5123
發行日 2022.2.16
二宮英治

責任者

でも、その成果は驚くべきことで、バリアフリーの時より転倒する方が少なくなるという結果になつたそうです。

人間の身体は樂を知つてしまふとそこで成長が止まつてしまい、良かれと思つてしまつたバリアフリーによつて、足を上げる必要が無くなれば足の筋力が弱つてしまつ何の段差が無くとも、筋力が低下しているのでつまづいて転倒してしまうのです。その人にとって本当に何が一番大切なかということをしつかり思案しなければならないという良い事例だと思います。

これは心の成長ということも通じると思います。辛いことや苦しいことは誰しも味わいたくないし、避けられるものなら避けて通りたいものですが、果たして避けて通ることが本当に自分のためになるのかどうか。その試練を乗り越える事によつて得られる大きな喜びがあるやも知れません。もちろん、先の人生など誰にも分かりません。いわゆる”神のみぞ知る”です。だからこそ、神様から与えられた様々な試練やハードルから逃げるのではなく、まずは受け止めて生きていくことが大切なことだと思います。そして、それは冒頭で書いた雑木のようなしぶとさを、神様は私たちにも仕込んで下さつていてることを信じることです。さあ、まだまだ続きそうなコロナ対応生活ですが、お互に勇ませ合つて生きていきましょう。



見守つてくださる

椿 信代

私の大好きなことの1つに星を見上げることができます。真っ暗な夜空に静かに輝く月、そして天井一面に広がる星空をずっと見ていると、宇宙の中に浮かぶ地球、その地面の上に立つ自分を感じることができます。

宇宙のことを知ることも楽しいです。光が1秒間に進む距離は約30万kmで、それは地球を1秒で7周半もするスピードですが、それ程速い光の速度でも今見えているあの星までは1万年もかかる…など。

とてつもないスケールの話です。つまり、そんな宇宙のことを思えば1日たった24時間の人間世界のことが本当に小さく思えてきます。怒りや悲しみのようなネガティブな感情も夜空を見つめているとすうーっと穏やかに消えていく気がします。

ただ…実は今住んでいる土地では街の灯りが明るすぎてあまり星が見えないのですが、今もこの心は忘れずにいます。つらいとき、あなたも夜空を見上げてみてください。大きな大きな空に、月日親神様はどこにいても見守つてくださっていると感じるでしょう。

教会ニュース

本年4月、おぢばでのお運びを経て葛城分教会の会長さんが辞任せられ、後継者の真介さんが新会長になられます。そして、5月29日に就任奉告祭が執り行われます。現在のコロナ禍の状況から出席者を限定してつとめられる予定になっていますので、個別の出席は控えておいて下さい。よろしくお願いします。

編集後記

毎日寒い日が続いています。もう少しで春になり、若い芽があちこちから出でてきます。春になると色々な事が始まります。我が家は受験生も、春から高校生になります。色々と新しい事にチャレンジして、成長していって欲しいと願う今日この頃です。 (編集者K)



日々のひのきしん

田中道則

先月の23日に陽都の誕生100日の「お食い初め」を家でさせてもらいました。ミルクをよく飲んでぐんぐん成長しています。気が早いですが、小学生になつたら何かスポーツをして欲しいななんて話をしています。しかし、陽都が小学生になって親子で運動会で走る頃にはぼくは50歳手前です。

仕事柄つねに体を動かしているので身体能力には自信があります。学生の頃は50Mを6秒台で走っていました。50歳のおじさんが20代、30代の若いパパ達を差し置いて駆けっこで勝つたらめっちゃカッコいいなと思います(笑)その為にも日々のひのきしんを欠かさず勤めていきたいです。

そして何よりお父さんの信仰はすごいなと思ってもらえるよう頑張りたいです。